

平成31年

なかたに 2月

～私達の中谷、「今」。
そして未来へ～

発行者：中谷自治センター
センター長：渡辺 光一
電話番号：0247-26-1457
FAX：0247-26-3068

中谷自治センターだより

<今月の予定>

日	月	火	水	木	金	土
					1 ・子育てサロン 9:30	2
3 ・いしかわスキップ ズ広場 9:30 ・中谷地区ボーリ ング大会 14:00	4	5 ・ニコニコ会打合 せ(4班) 19:00	6	7 ・高齢者運動教室 9:00	8 ・子育てサロン 9:30	9 ・親と子の読書会 16:00
10 ・いしかわスキップ ズ広場 9:30 ・第2回寒そばま つり 11:00	11 建国記念の日	12 ・ニコニコ会月例 会(4班) 19:00	13	14 ・高齢者運動教室 9:00	15 ・子育てサロン 9:30 ・パソコン教室 13:30 ・シニアスクール (閉校式) 19:00	16
17 ・いしかわスキップ ズ広場 9:30	18	19	20 ・防犯パトロール 17:30 ・地域安全部会主 催安全講話 18:30	21 ・高齢者運動教室 9:00	22 ・子育てサロン 9:30	23 ・ニコニコ会運営 関係者慰労会 11:00
24 ・いしかわスキップ ズ広場 9:30	25 ・休館日	26	27	28 ・高齢者運動教室 9:00		

おかげさまで 30年7月11日で開店三周年 あなたの健康を第一に!



手作り
惣菜・弁当
オードブル

食彩 あすか

店頭販売

水・木・金
11:00 ~ 17:00



予約電話・ファックス 0247-26-8588

自治協議会からのお知らせ

- ・理事会は日時が決まり次第連絡します。
- ・区長会分散会 3月30日(土) 下の湯 午後6時



☆地域事業部会 開催☆

12月20日、地域事業部会が開催された。部会長のあいさつ、報告事項の後、協議事項に入り①新年互礼会は1月25日(金)、午後7時より、マーヴェラス末広にて開催、実行委員は区長会が担当、招待者は地元選出町議と町長。②ボーリング大会は2月3日(日)、午後2時より、鏡石空港ボウルにて競技内容は昨年同様、実行委員は企画推進委員会が担当することで決定した。スポーツ大会の開催予定日は31年度の体育館使用申込の関係もあり、5月26日を第一案に第三案までの申込をした。スポーツ大会雨天時の屋外競技は中止ではなく、屋内で出来る代替競技(スカットボール)を決めた。31年度の取組み事業と年間予定は次回の部会会議で決めることになった。

☆冬休みの宿題に取り組む☆

恒例の書道教室が12月24日(日)、開催された。瀬谷豊さん、大塚通さん両名の指導により、各学年冬休みの宿題に真剣に取り組む、学校への提出分と自治センターへの提出分2枚を書き上げました。講評の中で、教室の中で指導を受けたことを思い出しながら、自宅で書いて学校に提出するよう話がありました。自治センター提出分はセンター体育館に展示してありますので、子供・お孫さんの作品を是非ご覧になって下さい。



☆伝統行事 どんど焼き☆

1月13日(日)、上双里上祭会主催の伝統行事「どんど焼き」が自治センター空地で行われた。当日は晴天で風もなく比較的暖かな日でしたので、大勢の地元の方がお札、しめ縄等を納めるために訪れた。神事、火入れ式の後、受けをしたお札、しめ縄等を火にくべて燃やし、新しい年一年間の無病息災、家内安全、五穀豊穡を祈願しました。

☆楽しく ニコニコ会例会☆

会員23名の参加でニコニコ会1月例会が1月15日開催された。運動不足になるこの時期でもあり、「石川町郷土かるた」と「ボール投げ」で体を使って楽しみ運動不足の解消に努めた。ボール投げでは同点の決勝戦もあり優勝、2位、3位、BBの人に景品が贈られた。



☆議会報告会開催☆

1月17日、町議7名の出席により第7回議会報告と町民の意見を聞く会が開催された。

山田副議長の挨拶で始まり、矢内町議より第6回議会報告会での意見・要望等に関する回答、根本重康町議より石川町議会政策提言内容、提言1、道の駅整備について、提言2、県立石川高校を存続させるための自治体の…取組みについての内容説明を受けた後、意見を聞く会に入り3名の方が質問した。①圃場整備で水源が少なく、田んぼを大きくすると水源の確保が必要②病院建設問題、副町長をトップに検討委員会を設置・・・③職員の駐車場を有料にしては④議会開催を休日、夜間にしては⑤消防団員は町外に勤務している人が多いため、火災時に出勤時間がかかっているのでは等々の意見が出されが、。昨年より参加人数が少なかったのはなぜか、原因は何か考えてみよう。

中谷地区新年互礼会開催

1月25日、マーヴェラス末広に於いて、平成31年中谷地区新年互礼会が開催された。町長、地元町議を来賓に向えて、区長会、副区長会、民生児童委員、企画推進委員、各種団体役員等、42名が出席しました。根本形見区長の進行で、大和田区長会長の年頭のあいさつで始まり、参加者全員の自己紹介の後懇親会に入り、地域の課題等の話題で時間の過ぎるのも忘れる程話が盛り上がりました。



中谷の民話 《昔話》

虚無僧の清水

谷沢字古内に「コモソウの清水」と呼ばれる清水がある。ここにはこんな言伝えが残されている。時は定かではないが相当昔の事らしい。今の太夫内に延命地蔵様がありそのすぐ側にお籠り堂があったという。この堂は髪盥山にまつられている飯豊神社に参拝する人々がここにお籠りして近くにある池で水氷をとり清め、心を正す所となっていた。ある日の事例によって部落の人々がこの堂に集まってお籠りをしていると一人の人相の悪い虚無僧が深編笠に尺八をもって堂に集まっていた人々に難くせをつけ、酒をたらふく飲んで暴れだしたという。部落の人もたまりかねてこの虚無僧を袋たきにしてしまった。そして逃げる虚無僧を綺羅良田(きららだ)(今の字名)まで追いかけて遂に再び捉えてここにあった清水に頭を突込み踏み込んで虚無僧を殺してしまったという。虚無僧のうらみが祟ってここに古内部落ほどの家にも子どもが生まれず遂に一部落が廃家となってしまったという。この清水の出る田は「ケジツ田」即怪事田と呼ばれこの田を耕作した者の家には必ず不幸が重なったという。したがって誰も耕作する者がなくなり、遂に神主様に進上したが、もらった神主様もたちまち貧乏し隣村の酒屋へ質に入れ流し、その後転々と人手に渡ったが、これを耕作する者の家には怪事が絶えなかったという。大正の末期磯侑助氏が神拔を行って魂田祭碑を建て、つづいて昭和二十七・八年谷沢地区の耕地整理をするとき神主を頼んで再び神拔を行い虚無僧の霊を懇ろに供養してからは怪事が入らなくなり、しかも立派な稲が育っている。怪事田の頃、よく子供たちが清水に竹ざおを「コモソくやしか。」と深く差し込むと下から新しい清水が「コモコモ」とでてきたという。

◆虚無僧とは

江戸時代普化宗派の有髪僧が丸ぐけの帯を締めて絹布の小ソデを着、深編笠をかぶり、けさをかけ尺八を吹いて戸毎に立って金銭をこい求めながら全国を修業して歩いた人々で中には旧武士で罪を犯した者が刑罰から逃れるためこの群集に入ったという。